

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	「河川がきれいなまちづくり」の実現（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	行田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	785	A	785	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道整備率を79.5%（H27当初）から82.4%（H31末）に増加させる。 (1) 下水道整備率 下水道を整備した面積（ha）/認可面積（1126ha）	80%	81%	82%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠(汚水)	新設	元荒川第10処理分区第10-1汚水幹線および枝線整備事業	L=8,900m 舗装A=44,500m ²	行田市						764		-	
	A07-002	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠(汚水)	新設	元荒川第6処理分区汚水枝線整備事業	L=250m 舗装A=1,000m ²	行田市							21		-
											小計						785			
											合計						785			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
行田市下水道事業運営審議会条例による、行田市下水道事業運営審議会で実施。	令和2年9月
	公表の方法
	市ホームページ、窓口
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・幹線及び枝線管渠を整備した結果、25.22haの区域が下水道区域となり、生活環境が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
公衆衛生上の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（R2～R6）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道整備率を79.5%（H27当初）から82.4%（H31末）に増加させる。	
	最終目標値	82%
	最終実績値	82%